

会議録

会議の名称	平成25年度 第2回 枚方市子ども・子育て審議会
開催日時	平成25年12月20日（火） 14時00分から 16時15分まで
開催場所	市役所別館4階第3・4委員会室
出席者	会長：安藤委員 委員：田邊委員、岩田委員、谷野委員、藪本委員、永吉委員、板床委員、山本委員、今西委員、鈴木委員、緒方委員、中葉委員、渡邊委員、坂井委員、佐々木委員
欠席者	山辺委員、長岡委員
案件名	(1) 平成24年度枚方市新子ども育成計画（後期計画）の進捗について (2) 枚方市子ども・子育て支援事業計画の策定について ①「子どもと子育て家庭を取り巻く状況」と各種ニーズ調査の集計報告について ②「これまでの取り組みの評価と課題」及び「目標事業量（需要の見込み）の策定に向けて」について
提出された資料等の名称	1. 枚方市新子ども育成計画（後期計画）の進行管理報告書(案) 2. 後期計画の「主要事業の現状と目標事業量」の変更(案) 3. 子どもと子育て家庭を取り巻く状況について(案) 4-1. 枚方市子ども・子育て支援事業計画の策定に関するニーズ調査（就学前児童調査・小学生調査）の集計報告（速報）(案) 4-2. 枚方市子ども・子育て支援事業計画策定ニーズ調査（就学前児童調査）単純集計結果(案) 4-3. 枚方市子ども・子育て支援事業計画策定ニーズ調査（小学生調査）単純集計結果(案) 5. 幼稚園児保護者の就労状況等に関するアンケート報告書(案) 6. 高校生の子育てに関する意識調査結果(案) 7. これまでの取り組みの評価と課題について(案) 8. 目標事業量(需要の見込み)について(案) 9. 第1回枚方市子ども・子育て審議会での委員からの主な意見について（要旨）
決定事項	1. 平成24年度枚方市新子ども育成計画（後期計画）の進捗について確認した。 2. 枚方市子ども・子育て支援事業計画の策定に関する各種ニーズ調査の集計報告について確認した。 3. これまでの取り組みの評価と課題、及び目標事業量（需要の見込み）に向けて各種資料のとおり確認した。
会議の公開、非公開の別及び非公開の理由	公開
会議録の公表、非公表の別及び非公表の理由	公表
傍聴者の数	3人
所管部署（事務局）	子ども青少年部 子育て支援室

審 議 内 容

安藤会長

定刻となりましたので、「平成 25 年度第 2 回枚方市子ども・子育て審議会」を開会したいと思います。まず、本日の委員の出席の状況について、事務局から報告をお願いします。

事務局

本日の委員の出席状況ですが、17 名中 15 名が出席しておられますので、過半数を超えていることをご報告させていただきます。尚、山辺委員と長岡委員が欠席との報告を受けております。傍聴者の方が 3 名おられます。よろしくお願ひ致します。

安藤会長

今報告がありましたとおり、委員の過半数が出席しておりますので、この審議会は成立しております。

事務局説明

資料 1、資料 2

安藤会長

ただいま事務局から資料 1、資料 2 に基づいて案件（1）平成 24 年度枚方市新子ども育成計画(後期計画)の進捗についての説明がありました。不明な点やご質問等ございませんでしょうか。

岩田委員

29 頁、枚方安心子育て応援事業というところで、「地域に密着した保育所（園）（39 ヶ所）ですが、55 ヶ所でなく 39 ヶ所でよかったですか。公立・私立両方で 55 ヶ所でなかったですか。

事務局

枚方市内の保育所で、委員のおっしゃるとおり、公私立で保育所は 55 ヶ所あります。ここでの事業については、枚方市が私立の保育園に対して支援をさせていただいているところが対象ですので、私立の保育園の数を掲載させていただいております。

岩田委員

了解しました。

今西委員

ナンバーのところは網のかかっているところと、そうでないのがありますが、何か意味があるのですか。

事務局

国庫補助対象事業とその他事業を区分するため、網が残ってしまいました。申し訳ありません。

安藤会長

他にございませんか。

山本委員

保育定員数の変更で、定員と受け入れ児童数の差はどのように考えるのですか。

事務局

資料 2 の 1 頁で参考資料ということで表がありますが、4 月 1 日現在と 10 月 1 日現在の保育所の定員数の推移という形でグラフを表しています。そのうち真ん中の薄い網掛けのところは定員数になります。国、大阪府、枚方市の保育基準の中で、弾力的に受け入れ枠を拡大して各保育所（園）の方で定数以上に受け入れていただいています。それを弾力児童数という形で、定員以外のところで上積みさせていただいています。各保育所（園）に入っている児童数が一番上の合計数です。入所児童数は、枚方市においては待機児童も生じておりますので、極力、待機児童をなくしていくということで、定員を上回った入所児童数が生じているということを表にさせていただいています。

山本委員

受け入れの方が承諾してこの人数になっているのですか。

事務局

そうです。

安藤会長

ご意見がないようですので、本計画の進捗については、おおむね確認ができたということですのでよろしいでしょうか。

では次に案件（2）枚方市子ども・子育て支援事業計画の策定について

① 子どもと子育て家庭を取り巻く状況」と各種ニーズ調査の集計報告について 説明

をお願いします。

事務局説明

資料3、資料4-1、資料5、資料6

安藤会長
田邊委員

概要について確認ができました。ご意見ををお願いします。

ニーズ調査全体に関して、障害をもつ子ども、そのお子さんを育てているご家庭のニーズなどを読み拾っていますか。

事務局

今ご指摘いただいた点につきましては、今回は調査項目として入っておりませんので、この調査内容から把握することは難しいと考えております。

田邊委員

例えば問17で、発育発達に悩んでおられる方が22.8%おられます。一般の発達の方のご家庭と違った悩みがあるのではないかと思います。そのあたりをうまく拾っていただけたらという想いがあります。

鈴木委員

27頁にありますファミリーサポートセンターと31頁の留守家庭児童会室がどういったものなのかを教えてください。その設置状況など、概要でいいので教えてください。

事務局

ファミリーサポートセンターについては、子育てのお手伝いをしたい方と、お手伝いを受けたい方がそれぞれ会員として登録していただいて、有償ボランティア活動を行う事業です。資料3の31頁のところに簡単な説明文がございます。保護者の方の手が届かないところをお手伝いいただけるようなボランティア活動です。現在は事務局がサプリ村野内にあります。

留守家庭児童会室については、一般的には放課後児童クラブというような言い方をしますが、枚方市では留守家庭児童会室とっております。主に小学校の低学年の子どもさんの保護者の方が共働きで、家に帰っても誰もいないという子どもさんを預かり、保護者の方が帰られるまでの生活や遊びの保育をさせていただくという事業です。設置場所は各小学校に設置しております。

岩田委員

資料4-1、15頁ですが、現在の保育サービスの利用状況の中に、認定こども園というのが0.1%ありますが、現在市内にありますか。

事務局

現在市内にはありません。他市の方で利用されている方がおられると考えております。

安藤会長

他にございませんか。ないようですので、おおむね確認できました。では案件(2)②「これまでの取り組みの評価と課題」及び「目標事業量(需要の見込み)の策定に向けて」について、事務局から説明をお願いします。

事務局説明

資料7、資料8、資料9

安藤会長

これまでの取り組みの評価と課題について、また国から示された指針等に基づく教育保育提供区域の設定についてご意見はありますか。また資料9については前回の審議会の皆さんのご意見をまとめたものですが、何かございますか。よろしいですか。ではおおむね確認できたと思います。本日の審議内容をふまえて次回は新しい計画の中身について審議を行うということですが、新計画に対してどうしていきたいか、または気になる点などがございましたら現段階のことでかまいませんのでお聞かせください。

田邊委員

先ほど少し質問させていただいたように、ニーズをうまく拾い上げて計画はなされると思います。私は小児科医ですので、発達障害ですとか、障害をもつお子さんを育てているお母さんを日々みており、いろんなご苦労があります。全体から見ると少数派にな

ってしまいますので、大きな調査においてはもれてしまうのかもしれないのですが、普通にはない問題が厳然とありますので、また特別なニーズがあるはずですが、そこをうまく拾い上げていただければと強く思います。

岩田委員
事務局

来年の夏くらいに意向調査をしますということですが、私立の幼稚園だけですか。

国の動きとして、来年 5 月から夏にかけて、認定こども園に対する私立幼稚園への意向調査が行われる予定であると聞いております。また、本審議会におかれましては来年の夏に中間まとめをしていただきたいと考えておりますので、国の動向を待っていると本審議会の進捗の方が間に合わないと考えております。そのため来月の 1 月に事務局の方から私立幼稚園の方に現時点の意向調査をさせていただきたいと考えております。認定こども園では保育と教育の一体提供によってニーズ量を確保していくということが目的として、今回新制度の中で位置づけられています。枚方市に当てはめてみますと、この間保育需要が増加しており、待機児童が発生している状況です。教育・保育を一体的に提供していく中で、今課題とされているのが保育事業と考えております。ですので、現在不足している保育事業をどのように満たしていくことができるのか。私立幼稚園の意向を把握していきたいと考えております。

谷野委員

先ほどから聞いておりますが、留守家庭児童会室と幼稚園の預り保育の関係ですが、27 年度から幼稚園の預り保育は拡大していく。希望者をできるだけ 100% 入園できるようにしていく。子どもが幼稚園のときから保護者が仕事をもつと、仕事はそう簡単にやめられないので、卒園した幼稚園、保育園での預り保育は認められるのか、場所としては小学校しかだめなのか、その辺はわかれば徐々に教えていただきたいと思います。

藪本委員

小学 1 年生で、幼稚園や保育所からやってきた時につまづかないよう、小 1 プロブレムの解消と言っておりますが、連携を密にしていきたいと動いております。また中学校 1 年生、中 1 プロブレムと言っていますが、そこでつまづきのないよということ、小学校から中学校へつなぐ連携を深めようとしています。ちょうどその間にあるので、保護者や子ども達の声も聞こえてきますので、それをこの場で少しでもお伝えできたらいいなと考えております。

資料 2 「後期計画の「主要事業の現状と目標事業量」の変更（案）」で、定員数プラス弾力の児童数を加えて、無理のないよということと実施されているということですが、ぜひ児童の安全のため、あるいはより良い保育環境のために指導者の方の人数も確保していただきたいと思います。充実していくことが子ども達のより良い教育・保育になっていくと思います。

資料 7 「これまでの取り組みの評価と課題について（案）」で非常にわかりやすく、今までの課題と、今後どうしていくかということがまとめられていて、大変わかりやすい資料です。ありがとうございます。その中で 5 頁ですが「こども・子育て支援新制度に向けた課題について」の 2. ③留守家庭児童会ですが、幼稚園・保育所のときから就労されている方はそのまま利用されています。小学校 6 年生までに拡大するのが課題だということと推進していただけるのはとてもありがたいことです。加えて支援の必要な児童、保護者の強い希望で、枚方市全域で受け入れている形にはなっていますが、各小学校単位で受け入れを推進していただきたいと思います。

最後に資料 8 の 4 頁ですが幼児教育ビジョンの中に「障害のある子どもや配慮を要する子どもに対する支援教育の充実を図るとともに、幼児教育のセンター的な役割を充実することです」とあり、ニーズとしては少ないかもしれないですが、障害のある子ども

さんをお持ちの保護者の方には心強いところであり、推進していただきたいと思います。よろしくお願ひ致します。

永吉委員

大変わかりやすい資料で、また後ほどもう1度目を通したいと思います。その中で就学前児童や小学生、高校生はあったが、中学生の保護者のニーズが入ってなかったのが気になってます。中学生になると心も身体も大人に近づいて不安定な時期で、子育てしている保護者の方も結構つらい、いろんな思いがあると思いますのでその辺の調査もしていただければと思います。

板床委員

一昨日ですがテレビで言っていました子どもの体力低下が問題になっているということですが、今後それについてもどのように向上させていくかということの検討もしていただければと思います。

佐々木委員

膨大な調査資料の分析など大変ご苦労なされたと思います。子どもが健やかに安全に育つようにこの結果が反映されればいいなと思います。全部に目を通しきれてないですが、例えば高校生の調査の中で、子どもを育てたいか、育てたくない。子どもが好きか、好きでない。というような回答も一部あります。どうしたら子どもを好きになるのか、この枚方で子どもを育てたいと思えるのか、というようなことも課題として検討していただければいいなと感じました。

坂井委員

細かなデータありがとうございます。保健所の方に持ち帰りまして、みんなでこの情報を共有したいと思います。子育てしやすいまちづくりというのは、どの年代の方でも生活しやすいまちづくりということで大事なことだと実感していますので、いろいろな機関が協力しあって、すばらしいまちづくりをしていけたらなと痛感しております。今後ともよろしくお願ひ致します。

渡邊委員

事務局の方、お疲れさまでした。ありがとうございました。子ども家庭センターにおりまして、虐待対応に日々追われております。虐待対応をする中で、子育て支援の大切さを痛感しております。地域で孤立して子育てされている方はたくさんおられます。先ほど高校生のアンケートの中で、「子どもを育てたいと思う」の項目のパーセンテージが下がったというのがありました。きめ細やかな子育て支援のできる枚方市になってほしいと思います。

中葉委員

保育所の定員増の取り組みで40人増えるということで、増えることはとてもいいことだと思いますが、子どもの環境や安全、保育士の先生の指導も大切だと思うので、そこに力をいれるようにできたらいいと思っています。

緒方委員

保育園の定員が増えるということは、働く母にとってもとてもありがたいことです。感謝しております。私も幼児教育にかかわっており、2児の母でもあります。発達障害などについて悩まれているお母さんがとても多いです。特に発達障害かどうかわからない、でもそうかもしれないという行動をとる子どもさんが、10年前、20年前よりはかなり増えていると思います。最近相談を受けた4歳の子どものお母さんは、いろいろな機関に相談に行きました。知能検査の結果だけを見せられて、ではその後どうすればいいのか、どう訓練したらいいとか、何の提案も導きもなく、お母さんは心が沈んだままの状態です。私も枚方市の取り組みとか調べてみましたが、発達障害に関しては大きな医療機関に行かないと診断していただけないようです。また専門の相談員も少ないという現実を知りました。資料の中の「子育てに困ったときの相談事業の充実」のところで回答されている方々は、一人で悩まれている方も多いのではないかと思います。少数派の困っておられるお母さん方に何かできないかということも考えていただければと思

います。例えば乳幼児健診などで、発達障害の早期発見、早期からの療育なり社会性の発達に関する支援を行うなどです。小学校、中学校でもそういう知識が必要になってくると思いますし、スクールカウンセラーに関しても知識を持つだけで、子どもたちに対する対応も変わってくるのではないかと思います。市をあげてそういう取り組みをしていただければありがたいと思います。

鈴木委員

働く仲間が集う連合から労働者の代表という位置づけで参加させていただいています。仲間によってはサービスを提供する側の人もありますし、家庭をもっていればそれを享受する側の人もあります。バランスをとりながら両面の意見を集めてここで意見を述べさせていただきたいと思っています。意見として1つ、サービスを提供する側の保育所に勤めている方が、その保育所は夜7時まで子どもを預かっているけれど、自分の子どもを預けている保育所は6時半までしか預けられないので、仕事を続けられるかわからない、という不安があると聞いております。量や数も大事なことです、時間軸のすり合わせも必要なのかと思います。要望として2点、1点は資料をたくさんいただいておりますが、何について審議をしたらいいのかというのが、資料を見ただけではわかりません。この場にきて説明はしていただいたのですが、どういう切り口でこの資料を見ていけばいいのか、どういう審議をしていくのかということを事前配布の資料の中に文書で書いていただければ準備しやすいのかと思います。2点目は、これは公開するというので、枚方市のホームページに載せるのではないかと思います、仲間にもみせたいと思っています。役所のホームページはどこに何があるか見づらいところもありますので、ホームページのどこのアドレスに見にいけばいいかを書いていただければありがたいと思います。

今西委員

感想になりますが、アンケート調査の結果を聞かせていただいてどの分野においても労働環境や経済的な意向が大きいということを改めて認識させられました。ニーズ調査の回収率ですが、項目数が増えているのに前回よりも2から3ポイント上回る結果になりましたことは、いろいろと手立てを講じていただいた結果かなと、大変よかったですと感じています。

山本委員

資料5というのはどこが違っているのでしょうか。

事務局

問2のところ、若干数値が変わっております。9頁以降です。

山本委員

わかりました。資料3のところも、変わったところだけの差し替えで結構です。

安藤会長

資料に基づいて説明をしていただきました。枚方市においても待機児童が増加しているわけで、その対策についてこれから検討していくに当たり、将来を見据えて需要と供給のバランスを考慮して、資料7にありましたように、国が示している認定こども園や地域の特性においた柔軟な対応ができるとされています地域型保育園についても検討が必要であると思っています。回収率のことですが、50数パーセント、私の小さな体験からいきますと、びっくりするくらい高い率だと思います。相当のご努力があったと思っています。その調査の結果を生かしていく中で、次の計画に結び付けていかなければ、この50数パーセントの努力が水の泡に消えてしまいますので、皆さんのご意見を頂戴しながら内容豊かに進めていきたいと思っています。また事務局のほうで、皆さんのご意見を整理していただきたいと思いますのでよろしくお願い致します。

ではその他として事務局から何かございますか。

事務局

今後についてのご連絡をさせていただきます。本日の資料等につきまして、ご意見等がございましたら、1月10日までに事務局まで連絡をお願いします。様式につきまし

ては、お手元に意見提出用紙をお配りさせていただいておりますので、事務局宛にファックス等を出していただければと思います。また後日、本日の会議録（案）を作成次第、送付させていただきたいと思っておりますので、届きましたらご確認の方をお願い致します。本日事前に送付させていただきました資料の中に、前回9月10日開催分の会議録をつけておりましたが、来週には市のホームページにて公開させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひ致します。ホームページの話は先ほど出ておりましたが、子ども・子育て審議会で検索していただきましたら、そちらに資料、前回の会議録等につきましても掲載をさせていただきたいと思っております。第1回分の資料につきましてはもう掲載されております。次回の審議会ですが、2月4日火曜日午後2時開催予定にしております。後日事務局の方から正式なご案内をさせていただきます。

安藤会長

説明がありましたように次回の審議会は2月4日午後2時からです。事務局から正式な案内が行くと思っております。意見等は1月10日までに出していただくようお願い致します。本日はこれで終了したいと思います。ありがとうございました。